基 礎 徹 底 演 習 問題プリント

三角関数 指数·対数関数①

40

関数 $y = a\sin(b\theta - c)$ $(a > 0, b > 0, 0 \le c < 2\pi)$ ……① を考える。

- に $\frac{\pi}{1}$ だけ平行移動したものである。また,この関数のグラフは $0 \le \theta < \pi$ において θ 軸と ウ 個の共有点をもつ。
- (2) ①のグラフが右の図のようになっているとき

 $a = \boxed{\mathtt{I}}, b = \boxed{\mathtt{J}}, c = \boxed{\mathtt{J}}\pi$

である。

また, このグラフと y 軸との交点の座標は

$$\left(0, \frac{7}{\Box} \sqrt{\frac{\tau}{\tau}}\right)$$

である。

ア	1	ウ	エ	オ	カ	+	ク	ケ	П

年 番 名前

41

関数 $y = \cos 2\theta + \sin \theta$ $(0 \le \theta < 2\pi)$ を考える。 $\sin \theta = t$ とおき、yをtを用いて表すと

$$y =$$
 アイ $t^2 + t +$ ウ

であり、y=0 を満たす θ の値は

$$\theta = \frac{\pi}{\mathbf{I}}, \quad \frac{\mathbf{J}}{\mathbf{J}} \pi, \quad \frac{\mathbf{F}}{\mathbf{J}} \pi$$

である。また、yは

をとる。